

**平成22年度**

**主要施策の成果**

**平成23年10月**

**大田区**

## 平成22年度 主要施策の成果

平成22年度の主な事業（おおた未来プラン10年の主な事業）と決算額は、次のとおりです。  
 なお、おおた未来プラン10年の主な事業のうち、財政負担を伴う事業のみを掲載しております。

事業名	内 容	決算額（円）
<b>基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち</b>		
<b>個別目標1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします</b>		
<b>施策1-1-1 安心して子どもを産めるまちをつくります</b>		
1	妊婦健康診査の充実 妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成（一人当たり14回）し、健診の受診率は91%でした。また、妊婦超音波検査（一人当たり1回）及び里帰り等における健康診査費用の一部を助成しました。	420,467,507
2	すこやか赤ちゃん訪問事業の推進 健やかな子育てを支援するため、出生数5,568人のうち、5,235人の乳児家庭を、生後4か月頃までに訪問しました（訪問回数延べ5,660回、訪問率94%）。訪問時に行う産後うつスクリーニングテストを本格導入し、保健師、委託助産師による育児サポート体制の強化を図りました。	28,185,488
3	両親学級（一日制）の充実 育児に関する保健知識の習得や、両親で子育てをするという意識啓発の一環として、父親の育児参加を促すことを目的に土日を中心に夫婦参加型の両親学級を開催しました（一日制：土日開催23回・参加者延べ1,349人、平日開催1回・参加者25人、三日制：平日開催38回・参加者延べ2,166人）。 受講希望の多い一日制の土・日開催の増加について、1部制から2部制に変更するための検討を行いました。	6,867,712
<b>施策1-1-2 子どもを健やかに育むまちをつくります</b>		
1	親の子育て力向上支援 親の子育て力向上支援事業の実施計画を策定しました。親同士が相互に学び合うグループを支援する人材（ファシリテーター）を養成するための講座（1回、参加者12人）を開催したほか、ノーバディーズ・パーフェクトプログラム（4回、参加者31人）を実施しました。	788,732
2	子育て応援サイトの運営 両親・育児学級や子育て講座等、妊娠期から乳幼児向けの情報や、子ども科学教室等小中学生以上向けの情報等、最新の子育て情報を子育て応援サイトで提供しました。平成22年度のアクセス数は280,068件でした。 区民委員による「おおた子育てほっとカフェ」の運営については、編集会議（13回）を開催し、区民委員の取材記事の編集を行いました。その内容をサイトに掲出し、身近な情報提供を行いました。	6,422,646
3	家庭福祉員制度の充実 自宅で2歳未満の乳児を対象に保育を実施する家庭福祉員（保育ママ）を新規に9人認定し、保育定数を拡大（前年度比19人増）しました。家庭福祉員に、運営費等を助成しました。	109,450,314
4	認証保育所支援 低年齢児保育や長時間保育等のニーズに応えるため、認証保育所の整備助成を行い、新たに2か所の認証保育所が開設されました（総数34か所）。新規開設及び開所済み施設に定員拡大を働きかけた結果、総定員数が1,262人（前年度比67人増）となりました。	1,256,300,573
5	区立保育園の改築・改修の推進 鶉の木保育園について、区立千鳥幼稚園の跡地を利用して改築工事を行い、竣工しました。平成22年9月に開園し、10月から定員を拡充（22人分）しました。 （仮称）新鶉の木保育園の新設及び入新井保育園の改築については、既存園舎解体等の工事を行いました。 西六郷児童館の保育園転用改修工事、みどり保育園耐震補強等改修工事、中央五丁目土地の保育園建設地擁壁工事を行い、西六郷児童館の保育園転用改修工事については竣工しました。 保育園改築等基本計画を策定し、保育需要の変化に対応可能な施設設計等の基本的な考え方を整理しました。	1,223,932,895

事業名	内容	決算額(円)
<b>施策1-1-3 未来を担う子どもたちを育てます</b>		
1 基礎学力の定着	児童・生徒が学力を確実に身につけられるよう、算数・数学のステップ学習プリント、習熟度別プリントを全小中学校に配布し、取り組みました。 全小中学校で放課後及び土曜補習教室を開催しました。土曜補習教室では算数・数学・英語を実施しました(6回、参加者:小学校延べ19,429人、中学校延べ8,677人)。	107,821,997
2 小中一貫教育の推進	大田区における小中一貫教育の指針(「大田区小中一貫教育～大田区の未来を担う子どもたちのために～」)を策定したほか、平成23・24年度の小中一貫教育モデル地区を指定しました。 キャリア教育に関するリーフレットを作成し、小中一貫したキャリア教育の実施と発表会(1回、参加者98人)を行いました。自然体験プログラムについては、東京都の事業と連携して作成したモデルプランを基に、作成を完了しました。	2,834,033
3 不登校施策の充実	在籍する学校以外の場所でカウンセリングや指導を計画的に行う適応指導教室として、旧羽田児童館の改修工事を行い、適応指導教室「つばさ」羽田教室を開室しました。 適応指導教室(3か所)にメンタルフレンドを定期的に派遣し、児童、生徒の相談相手として支援を行ったほか、児童・生徒一人ひとりの抱える悩みを早期に発見し、速やかに対応するため、学校生活調査(メンタルヘルスチェック)を実施しました。	8,585,311
4 日本語指導教室の充実	小学生(88人)、中学生(33人)に、1人60時間の日本語初期指導を実施しました。蒲田小学校、蒲田中学校において、教科学習等を充実させるために必要な日本語指導を実施しました(小学生19人、中学生34人)。	31,383,546
5 学校施設の改築	羽田中学校の改築について、校舎棟、体育館棟の内装工事及び緑化工事が完了し、プール改築、既存校舎解体に着工しました。 嶺町小学校の改築については、基本設計を完了し、実施設計に着手しました。	1,665,282,176
6 学校施設の緑化の推進	地球に優しいまちづくりを進めるとともに環境教育の充実を図るため、羽田中学校の壁面・屋上緑化工事及び徳持小学校の壁面緑化工事を行い、完了しました。	7,854,000
7 学校運営システムの構築	事務事業改善推進委員会(4回)、作業部会(7回)を開催し、平成23年度からの学校運営システムの導入に向けた運用方法や、学校における事務改善等の課題の検討を行いました。 学校運営システムの導入に向け、通信回線の準備工事を行い、完了しました。	41,423,970
<b>施策1-1-4 のびのびと成長する子どもを見守ります</b>		
1 学童保育及びフレンドリーおおた事業の充実	フレンドリーおおたを充実するため、池雪小学校の空教室を使用していた仲池上児童館池雪分室を近隣に移転しました。これに伴い、学童保育室の面積を拡大し、受入数が増加(15人)しました。 廃園後の区立幼稚園舎を「おおたっ子ひろば」として開設(6施設)し、学童保育児童の受入数が増加(110人)しました。	835,679,689
<b>個別目標1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります</b>		
<b>施策1-2-1 誰もが健康に暮らせるまちをつくります</b>		
1 健康づくりの推進	健康に関する既存の計画である「健康大田21」を引き継ぐ計画を策定するため、パブリックコメント(意見数8件)、区民説明会(参加者6人)を実施し、平成23年3月に「おおた健康プラン」を策定しました。 健康づくりグループ25団体の情報を掲載した「健康づくり情報ガイド」を作成、発行(6回)しました。 「女性のための健康づくり講演会」(2回、参加者延べ93人)を開催し、健康づくりグループのPR及び交流を行ったほか、骨粗しょう症予防教室(8回、参加者延べ217人)等の健康相談や、健康診査・各種健診を実施しました。	1,572,363,103

事業名		内容	決算額(円)
2	食育の推進	<p>食育検討会(2回)を開催して食育の取り組みの検討を行い、「おおた健康プラン」と一体で平成23年3月に、食育推進基本方針を策定しました。</p> <p>食の大切さを啓発するため、食育フェア(1回)を開催し、学校・保健所等における食育活動を紹介するパネル展示やレシピパンフレットの配布等を行いました。</p> <p>「乳幼児の食における共食の大切さ」をテーマとした講習会(1回、参加者42人)を開催したほか、東京誠心調理師専門学校と共催で親子食育教室「レストランシェフキッズ」(1回、参加者50人)を開催しました。バランスのとれた朝食を食べることを促すため「朝食メニュー集」(5,000部)を作成し、3歳児健診等で配布しました。</p>	545,978
3	地域医療連携の推進	<p>脳血管疾患、関節リウマチ、小児医療等、医療に関する講演会(8回、参加者延べ694人)を開催し、病気に対する知識の普及を図りました。</p> <p>区内の全ての病院(28か所)の情報を掲載している「病院ガイドおおた」(30,000部)を作成し、医療機関等で配布しました(病院とは、病床が20床以上の医療機関をいいます)。</p> <p>周産期医療緊急対策事業では、診療所移転増床(1施設18床)について、産科医療施設整備費の一部を助成しました。</p>	38,263,190
4	食の安全確保	<p>より高度な衛生管理手法を新たに導入した大規模給食施設等が4施設増加し、17施設となりました。電子メールによる「大田区保健所情報メール」の発信を開始し、感染症に関する情報や食中毒に関する情報等を発信(4件)しました。</p>	29,018,670
5	健康危機管理体制の整備・充実	<p>感染症対応マニュアルについて、過去の事例や、法改正、国及び東京都の動向を含めて見直し、改訂版の案を作成しました。</p> <p>大田区新型インフルエンザ対策行動計画について、平成21年度に実際に感染が広がった教訓を基に、さらに実効的な計画に整備するための草案を作成しました。また、平成21年度の新型インフルエンザに対する大田区の対応を総括し、製本して関係各所に配布しました。</p> <p>サージカルマスクについては備蓄を進めるとともに、区内医師会への配布及び東日本大震災の被災地に対する抛出(延べ40,000枚)を行いました。その他、医療用防護服についても備蓄を進めました。</p>	11,088,000
施策1-2-2 ユニバーサルデザインのまちをめざします			
1	ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の策定・推進	<p>区民検討会(9回)、庁内検討委員会(4回)を開催して、ユニバーサルデザインのまちづくりの考え方、アクションプランにおける取り組み事例等、基本方針及びアクションプランについて必要な検討を行ったほか、区民参加のワークショップ(1回、参加者54人)を開催して、ユニバーサルデザインの考え方の共有等を行いました。</p> <p>基本方針及びアクションプラン(素案)について、区民説明会(1回、参加者20人)、パブリックコメント(意見数32件)を実施し、平成23年3月にユニバーサルデザインのまちづくり基本方針及びアクションプランを策定しました。</p>	14,335,221
2	誰にもわかりやすいサイン整備	<p>サイン整備推進委員会(1回)を開催し、各部局が進めているサイン整備に関する情報の共有化を行いました。</p> <p>「大田区サイン基本計画」に掲げる事業について、平成21年度中の取り組み実績をとりまとめ、ホームページ等で公表しました。</p> <p>多くの来訪者が見込まれる蒲田駅、大森駅を中心に、外国人旅行者、障がい者、高齢者等が安心して観光を楽しめるよう、大型サインを13基設置しました。</p>	47,973,964

事業名	内容	決算額(円)
施策1-2-3 障がい者が地域で安心して暮らせるまちをつくります		
1 （仮称）障害者総合サポートセンターの設置	<p>庁内検討委員会（5回）を開催し、（仮称）障がい者総合サポートセンターに取り込むべき機能等の検討を行ったほか、先進自治体への視察（3回、杉並区、世田谷区、品川区）を行いました。</p> <p>（仮称）障がい者総合サポートセンター基本計画（素案）について、区民説明会（1回、参加者55人）、パブリックコメント（意見数215件）を実施し、平成23年2月に計画を策定し、公表しました。</p> <p>基本計画の策定に合わせ、区民周知用パンフレット（2,000部）を作成し、配布しました。パンフレットには、視覚障がい者のための音声コードを導入したほか、見やすい色合いに努めました。</p>	513,560
2 就労支援の充実	<p>障がい者の一般就労を促進するため就労相談を実施し、相談件数は5,596件（うち新規相談116件）でした。障がい者の就労促進を行い、50人が新規就労しました（障害者就労支援センター15人、特別支援学校新卒16人、授産施設19人）。就労者371人について、会社訪問、就業生活相談、仲間との余暇の場の提供等の就労定着支援を行いました。</p> <p>地域自立支援協議会精神障害者の就労支援部会（10回）において、就労支援ネットワーク構築についての検討を行ったほか、支援者向け研修会（1回、参加者47人）及び当事者向け企業説明会（1回、参加者25人）を実施しました。</p>	11,333,322
3 地域生活移行支援（グループホーム等）の充実	<p>親なき後の障がい者等の自立をサポートするため、グループホーム・ケアホーム（3施設）の整備支援を行いました。入院している精神障がい者が退院後安定した地域生活を送ることができるよう、入院中から退院準備に向けての支援や、退院後の治療中断防止等の支援を行う地域生活移行支援コーディネーター（1人）を配置し、23人が利用しました。</p>	33,409,600
4 ふれあい広場事業の充実	<p>平成22年12月に「しょうがい者の日のつどい」（1回、参加者2,800人）を開催し、従来行ってきたミュージカル等の演目のほか、公募による区民、民間専門学校学生、区立小学校児童、ダンス教室講師等の協働により、障がいのある児童とない児童がともにダンスのコラボレーションを実施しました。大森東福祉園、こども発達センターわかばの家等16の施設で、福祉施設まつりを開催しました。</p> <p>障害者福祉強調月間を実施し、パネル展（3か所）・文化展（出品者358人）を開催しました。</p>	7,749,890
施策1-2-4 生きがいと誇りをもって暮らせるまちをつくります		
1 生涯学習リーダーの育成	<p>生涯学習リーダーを育成するため、生涯学習プランナー講座（8回、参加者25人）、生涯学習コーディネーター講座（8回、参加者30人）を実施しました。生涯学習プランナー講座修了者及び公募による企画員（33人）が区民参加型企画運営講座（3講座、計20回、参加者延べ103人）を開催しました。また、地域スポーツクラブ指導者養成講習会（5回、参加者30人）を開催したほか、地域住民が主体となって運営する地域スポーツクラブの設立支援を行い、調布地区に1団体が設立されました。</p> <p>地域活動ステップアップ講座（3回、参加者21人）、青少年リーダー講習会（3講座、計9回、参加者延べ57人）を開催しました。</p>	1,342,529
2 スポーツ施設の整備（大田区総合体育館の整備）	<p>地下掘削工事、地下躯体工事が完了し、地上部分に着工しました。出来高は概ね55%です。</p> <p>大田区総合体育館指定管理者候補者選定委員会を設置し、指定管理者の公募（応募7件）を行いました。書類及び面接選考を実施し、指定管理者候補を選定しました。</p>	1,237,406,056
3 図書館の改築・改修	<p>「均質で公平な図書館サービス」を実現するため、建築年次の古い図書館について、改築・改修に向けた検討を行いました。</p> <p>入新井図書館の内装工事が完了し、開館しました。利用者用インターネット端末の設置や商用オンラインデータベース（法律情報・新聞記事情報）の活用等、情報提供機能の充実を図りました。</p>	130,122,598

事業名		内容	決算額(円)
4	馬込文士村資料の活用	資料整理カード、現物資料の電子データ化をはじめ、資料整理カードの新規作成、追記、点検等の作業及び資料保管管理状況の改善を進めました。	4,781,980
施策1-2-5 安定した暮らしと人権を守ります			
1	女性の就労支援(再チャレンジ等)	女性の働く意欲と能力を活かして再就職や起業にチャレンジできるように、働きたいママのための再チャレンジ応援ナビ(3回、参加者延べ78人)、お仕事復活ナビ(3回、参加者延べ82人)、ぶち起業サポート塾(5回、参加者延べ117人)を開催しました。 ワーク・ライフ・バランスの啓発のため、講演会「社会も家族も幸せにする秘訣」(1回、参加者181人)、パパの手でつくる赤ちゃんのハッピースマイル講座(4回、参加者延べ90人)を開催したほか、パネル展を実施しました。 働く女性のための相談を実施しました(相談件数130件)。	1,384,100
個別目標1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります			
施策1-3-1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります			
1	高齢者の就労促進・起業支援	高齢者就労支援体制整備に向けた調査を区民及び区内企業に対して実施し、意向や要望の把握を行ったほか、事業の周知とニーズ把握のためのイベント「高齢者等就労・社会参加支援フェア」(1回、来場者延べ310人)を開催しました。 高齢者就労支援センターについて、運営主体に関する庁内調整(2回)及び社会福祉協議会ほか関係機関との協議(4回)を行い、運営主体候補を決定しました。	500,000
2	介護予防の促進	高齢者の介護予防を促進するため、アンケート調査(介護予防基本チェック、128,605件)を実施しました。また、通所型介護予防教室(80教室、参加者延べ3,552人)の開催や、訪問型介護予防個別指導(29人)を行いました。さらに、うつ予防やうつ支援事業として、対象となる高齢者(416人)を訪問してアセスメントを実施することにより、早期発見と医療機関への紹介や介護予防事業の勧奨等の対応を行いました。 元気な高齢者向けに、20か所のさわやかサポートで介護予防教室(251回、参加者延べ3,391人)、本門寺公園等で公園体操講座(15回、参加者延べ840人)、認知症予防教室(2日制4回、参加者延べ156人)、いきいき脳トレーニング教室(6日制1回、10日制1回、参加者延べ126人)、認知症予防講演会(1回、参加者216人)を開催しました。 公園体操地域指導員養成講座(16回、参加者延べ285人)、説明会(1回、参加者28人)を開催したほか、介護予防サポーター養成講座(基礎編3日制、参加者延べ46人、中級編4日制、参加者延べ78人)を開催しました。	211,839,937
施策1-3-2 高齢者が安心できる暮らしを支えます			
1	地域の見守り体制の整備	区報でさわやかサポートの活動内容を特集し、相談窓口の周知を行ったほか、先駆的事例の収集を行い、事例集(1,400部)を作成しました。 地域での見守り体制づくりのための助成(19自治会・町会)をしました。	27,241,895
2	家族介護者への支援	ショートステイ整備に向け候補地を選定し、事業計画の検討を行いました。 家族介護者に対する介護方法の指導や健康相談等を実施したほか、家族介護者の集い(1回、参加者62人)を開催しました。 家族介護者へのヘルパー派遣については、利用者へアンケートを実施した上で、利用時間を午後6時までから午後8時までに延長すること、及び利用時間単位を2時間単位から1時間単位とすることについて、要綱の改正を行いました。サービスの利用実績は延べ2,046時間でした。	10,770,585

事業名		内容	決算額(円)
3	さわやかサポート(地域包括支援センター)の拡充と福祉ネットワークの強化	さわやかサポートと区の施設との併設について検討を行い、さわやかサポート六郷中を六郷特別出張所の改築と併せて併設する計画を推進しました。さわやかサポート相談担当職員を対象に、研修を開催(3回、参加者延べ41人)したほか、地域力推進地区委員会への出席を促進し、地域との連携強化を図りました(18か所出席)。	624,286,397
4	介護保険施設等の整備支援	特別養護老人ホームの整備を支援するため、2か所の施設(フローラ大森南80床、千里64床)について、貸付金金銭貸借契約を締結しました。 認知症高齢者グループホームの整備支援については、整備中であった4か所の認知症高齢者グループホーム(アイケア大森東:定員15人、東京大田の家:定員18人、フラクタルビレッジ西六郷:定員18人、フラクタルビレッジ羽田:定員18人)の完成に伴い、介護保険法に基づく指定を行い、開設しました。また、整備支援を行うための公募、選定を行い、フラクタルビレッジ大森南が竣工しました。	1,171,255,498
5	高齢者総合相談体制の構築	高齢者の相談にいつでも応じることができるよう、区窓口が閉庁している時間帯に高齢者ほっとテレフォンを実施し、相談(相談件数2,300件)に対応しました。 高齢者総合相談体制を構築するため、各課題と進め方の整理と推進体制を整備しました。さわやかサポートと区のシステムネットワークを早急に取り組んでいく課題として、これに係る検討を行いました。	8,694,000

### 施策1-3-3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります

1	高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	高齢者相談の連携体制を構築・推進するため、課題である緊急支援体制の構築について検討を行いました。緊急支援体制の構築に向け、現場の問題点と課題を抽出したほか、緊急支援を必要とする場合の対応マニュアルを整備するため、困難事例のとりまとめ等を行いました。 緊急ショートステイの受入れ施設2か所と、現状把握及び課題検討のための共同会議を行いました。年間を通した利用率は50%程度であり、現状の4床からの増床の必要性は今後の検討課題であると整理しました。	10,756,720
2	高齢者等の権利擁護の推進	成年後見制度やその相談窓口及び高齢者虐待防止に関する通報窓口を、区報や介護保険事業者連絡会等で周知しました。 家庭裁判所に対し、成年後見制度に関する区長申立て(32件)を行いました。 社会福祉協議会成年後見センターにおいて、法人後見(13件)を受任したほか、成年後見制度の活用に向け、窓口相談(1,047件)、専門相談(38件)、成年後見人養成講座(5回、参加者延べ74人)を実施しました。 また、地域福祉権利擁護事業(58件)と同事業の対象拡大サービス(証書等預かり・支払い代行、17件)を実施しました。	25,727,178

## 基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く<sup>まち</sup>都市

### 個別目標2-1 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

#### 施策2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

1	蒲田駅周辺のまちづくり	蒲田駅周辺地区ランドデザイン庁内推進委員会(2回)を開催し、計画事業の取り組みの確認及び情報共有を行いました。 蒲田駅周辺整備計画の策定については、国・東京都・区による検討組織準備会(1回)を開催し、調査研究会体制等の検討を行いました。その上で、蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会(4回)を開催し、蒲田駅を中心とする地区整備の検討を行い、調査研究会中間報告をまとめました。 旧逆川の整備については、道路予備修正設計、道路及び電線地中化詳細設計を完了したほか、地元検討会(2回)、地元説明会(1回、参加者36人)を実施し、道路整備の形状を決定しました。	30,239,695
---	-------------	--	------------

事業名		内容	決算額（円）
2	大森駅周辺のまちづくり	大森駅周辺地区グランドデザインの策定に向け、庁内検討委員会（4回）、学識者検討委員会（4回）を開催し、まちの将来像や具体的取り組みとなるアクションプランの実現可能性等の検討を行いました。 地元意見交換会（4回、参加者延べ78人）、素案に関する地元説明会（2回、参加者延べ40人）を開催したほか、パブリックコメント（意見数41件）を実施し、平成23年3月に大森駅周辺地区グランドデザインを策定しました。 大森北一丁目開発については、平成23年2月に完成した複合施設のうち、区活用部分である入新井特別出張所、自転車駐車場、入新井図書館等の内装工事を完了し、開設しました。	478,671,880
3	身近な地域の魅力づくり	「人と緑と文化の調和するまち」をめざした大岡山駅周辺地区の整備を進めるため、区画街路第1号線の鉄道蓋掛け工事を継続的に施工しているほか、土地開発公社から用地（583.94㎡）を買戻しました。	1,899,181,998
4	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり	京急蒲田西口地区については、調査活動を行い、まちづくり推進団体を支援したほか、団体活動費の助成等を実施しました。 また、従前地権者による共同建替え事業の支援として、除却費の一部を助成しました。 京急蒲田西口駅前地区再開発事業については、駅前再開発準備組合の活動支援として、調査設計計画費に助成し、平成23年3月に再開発組合が設立されました。 雑色駅周辺地区については、調査活動を行いまちづくり推進団体の活動及び広報紙発行等を支援しました。 糞谷駅周辺地区については、再開発組合設立に向けての合意形成を進めるため、準備組合が行う個別面談の実施等を支援しました。	38,947,684
施策2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります			
1	京浜急行線連続立体交差事業の推進	連続立体交差事業を推進するため、負担金や京急蒲田駅総合改善事業補助金を支出しました。連続立体交差事業では、平成22年5月に上り線を高架化し、9月には環状8号線付近の下り線を仮高架化しました。これにより、環状8号線を含む4箇所の踏切が除却されました。	1,234,772,254
2	新空港線「蒲蒲線」の整備促進	新空港線「蒲蒲線」の整備促進に向け、平成21年度に実施した調査結果を交通問題調査特別委員会に報告し、公表しました。 国・東京都・区・鉄道事業者等で構成する勉強会（2回）を開催し、最新のパーソントリップ調査を踏まえた予測モデルの更新を行うとともに、空港跡地まちづくり推進計画等を反映した需要予測の深度化を踏まえ、事業実現性等を検討しました。現在想定している条件下では、一定の事業性があることを確認しました。	7,875,000
3	都市計画道路の整備	交通円滑化を図るとともに、安全で快適な歩行者空間を確保するため、区画街路第1号線の鉄道蓋掛け工事を継続的に施工しているほか、土地開発公社から用地（583.94㎡）を買戻しました。また、補助44号線については、復元測量、管理舗装を完了したほか、契約買収（2画地、182.61㎡）、土地収用法の裁決申請（1画地、9.55㎡）を行いました。さらに、土地開発公社から用地（347.39㎡）の買戻しを行いました。補助43号線については、土地利用履歴調査を実施しました。	303,244,817
4	コミュニティバスの導入検討、運行支援	矢口地域におけるコミュニティバス（たまちゃんバス）の運行事業者へ運行事業補助金の交付、利用促進策の検討、利用案内の作成・配布等の運行支援を行いました。平成22年度の乗車人員は、約36,000人、1便あたりの平均乗車人員は6.6人でした。 地元関係者で構成する大田区コミュニティバス等検討会議・作業部会（3回）を開催し、平成21年度に行った運行検証結果に基づく利用促進、サービス水準の改善、事業採算性の向上等の課題を検討しました。	8,901,312
5	自転車駐車場の整備	蒲田五丁目45番（320台）、雑色駅西口（365台）、大森複合施設ビルの地下の自転車等駐車場（536台）の整備を完了しました。 また、日本工学院地下自転車等駐車場に地下2階部分（1,024台）を開設しました。	172,208,791



事業名		内容	決算額(円)
6	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備	<p>関連街路用地の2画地(計23.47㎡)について地権者と契約し、用地契約率が88.4%となりました。また、土地開発公社に依頼して先行取得した画地のうち189.56㎡を買戻しました。</p> <p>東京都受託分の関連街路用地を土地収用法の和解により1画地(56.56㎡)取得しました。受託分用地契約率は96.9%です。</p> <p>補助線街路第328号線の境界確認調査、電線共同溝及び街路整備詳細設計等を実施しました。また、東京都からの受託事業である空港線付属街路第1号線の境界確認調査、道路整備詳細設計等を実施しました。</p>	1,033,229,303
施策2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります			
1	公園の整備	<p>東糞谷防災公園について、防災広場、外周園路等の公園第二期工事が竣工しました。東蒲田公園について、地元自治会や近隣住民への公園整備計画に関する説明を行い、そこでの意見を反映して基本設計、実施設計を完了しました。(仮称)中央五丁目緑地について、道路拡幅工事等を行いました。</p>	281,234,113
2	魅力ある公園のリニューアル	<p>公園のバリアフリー化を推進するため、萩中公園、西六郷三丁目公園、本門寺公園、洗足池公園の設計を完了しました。平和の森公園、都堀公園、萩中公園、西六郷三丁目公園の工事を行い、萩中公園、西六郷三丁目公園については竣工しました。矢口二丁目公園に健康遊具を設置し、谷戸児童公園、サンサン根岸児童公園、久が原なかよし児童公園、石川町二丁目児童公園、西六郷一丁目児童公園、南六郷公園、北前堀緑地、森ヶ崎公園の遊具改修を行いました。</p> <p>桜の保全、更新については、樹勢回復のため土壌改良等を実施したほか、極めて状態が悪いと認められる樹木を対象に伐採・植樹を実施しました。</p>	442,404,100
3	呑川緑道の整備	<p>水と緑の輝きや四季の変化を楽しめる散策路を整備するため、緑道整備工事(373.4m)及び実施設計(140m)を完了しました。</p> <p>サイン整備について、種別、設置位置等の検討を行い、呑川緑道サイン基本計画を策定しました。</p>	43,787,609
4	桜のプロムナードの整備	<p>水と緑のネットワークの充実を図るため、散策路整備工事(123.1m)を完了したほか、桜の植栽(1本)を行いました。</p> <p>サイン整備について、種別、設置位置等の検討を行い、桜のプロムナードサイン基本計画を策定しました。</p>	38,705,641
施策2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります			
1	鉄道駅舎のバリアフリー化の推進	<p>京急天空橋駅について、エレベーター設置費の一部を助成し、エレベーターの供用を開始しました。千鳥町駅のバリアフリー化について事業者ヒアリングを行い、スロープを設置することになりました。ホームドア等の整備について、事業者から今後の整備の方向性等のヒアリングを行いました。</p>	40,494,000
2	自転車等利用総合対策	<p>自転車等駐車対策協議会(6回)及び視察会(1回、自由が丘駅周辺、桜新町駅、渋谷区旧玉川水道道路、世田谷区城山通り)を開催し、駐輪に関する課題と方針や自転車走行環境等について検討を行いました。</p> <p>自転車等利用総合基本計画(素案)について、パブリックコメント(意見数9件)を実施し、平成23年3月に「はしる」、「とめる」、「まもる」を柱とする自転車等利用総合基本計画を策定しました。</p>	10,814,847
3	だれでもトイレの整備	<p>若竹公園、大森西四丁目公園、南蒲公園の公園便所において、「だれでもトイレ」の改築工事を行いました。また、次年度以降の新設に向けた検討を行いました。</p>	25,289,276
4	橋梁の耐震性の向上	<p>新馬込橋の詳細設計委託、西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋の調査、道々女木橋、清水窪歩道橋の調査、設計を完了しました。</p> <p>仲ノ橋、八幡橋、大森東避難橋、町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、薬師跨線人道橋については、工事を継続的に施工中です。</p>	378,713,920

事業名		内容	決算額(円)
個別目標2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります			
施策2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくりま			
1	にぎわいのある文化交流拠点の整備	<p>国・東京都・大田区・品川区で構成する羽田空港移転問題協議会において、平成22年10月に「羽田空港跡地まちづくり推進計画」を策定し、跡地をどのように活用していくかについての方向性を示しました。</p> <p>また、跡地整備に向け「羽田空港跡地利用に関する調査」報告書を取りまとめました。</p>	32,193,000
2	世界へ発信する産業支援拠点の整備		
3	水と緑のふれあいゾーンの整備		
施策2-2-2 未来につながる臨海地域をつくりま			
1	海辺の散策路整備	<p>臨海部散策路のルートの設定と基本断面の検討を行い、一部区間(1,400m)の基本設計を完了しました。</p> <p>羽田旭町地区の散策路整備について、平成23年度の工事実施に向けた実施設計(200m)を完了しました。</p>	3,587,850
施策2-2-3 国際都市として交流を育みます			
個別目標2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します			
施策2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します			
1	工場の立地・操業環境の整備	<p>区内工場の立地・操業環境を向上させるため、事業の拡張や高度化を図る企業に助成(16件)したほか、新規に助成する企業(7社)を認定しました。産業支援施設指定管理者による賃貸工場・創業支援施設等のモニタリング評価を実施しました。</p> <p>民間大規模工場アパートについて、ものづくり工場立地助成制度(基盤施設整備)において事業者からの計画を認定しました。</p>	191,740,748
2	新製品・新技術開発の支援	<p>開発ステップアップ助成の上限枠を増やす等、事業内容の見直しを行い、開発段階に応じた対応幅の広い支援を行いました。開発スタート助成(上限200万円)1件(申請2件)、開発ステップアップ助成(上限1000万円枠)6件(申請36件)、開発ステップアップ助成(上限500万円枠)9件(申請31件)に助成しました。</p> <p>新製品・新技術コンクールについては、従来の奨励賞を一新し、大田区の企業らしい特色のある賞(おおた福祉・医療賞、おおたECO推進賞、おおた秀逸技能賞、テク乃ちゃんイチ押し賞)を新設しました。入賞した企業(9社)を対象に、表彰式を行いました。</p>	78,232,484
3	海外市場開拓支援	<p>企業の取引拡大につながる海外展開を支援するため、オオタテクノパークへの入居準備やタイ市場調査のための支援活動(56社)を実施したほか、中国市場展開の支援として、区内企業を引率しての視察(4回、延べ10社)を実施しました。また、海外見本市への出展支援(延べ18社)を実施しました。</p> <p>海外取引相談(459件)、中国取引相談(439件)を行ったほか、海外市場調査(中国5都市、タイ3都市、マレーシア1都市、ベトナム1都市)を実施しました。</p>	28,653,942
4	次世代ものづくり人材の育成	<p>小中学生のものづくりへの興味・関心を促すため、ものづくり実践教室(ロボット教室2回、参加者延べ199人)、産業のまちスクール(1回、参加者46人)等を開催しました。人材育成のため、経営技術指導講習会(10回、参加者延べ157人)を開催しました。若手求職者と大田区企業との出会いの場を提供するため、ヤングジョブクリエイション2010(1回、参加者約1,100人)、プレ就職面談会(2回、参加者延べ73人)を開催しました。</p> <p>産業団体等が実施する経営革新や技術向上等のために実施する講習会等に助成(27件)しました。</p>	25,307,367

事業名		内容	決算額(円)
施策2-3-2 暮らしを支えるあきないを熱く盛り上げます			
1	商店街景観整備事業	商店街と近隣住民による協議会（大森本町ミハラ通り北商店会、大森ミハラ通り仲町商店会、ミハラ南商店街振興組合、するがや通り商店会）において、整備計画のスケジュールを検討、確認するにあたって、コンサルタント派遣の支援を行いました。 景観整備を実施する意思がある全商店（延べ52店舗）を対象に実施設計を行いました。	3,699,000
2	ふれあい商店街事業	梅屋敷東通り商店街に区内で5か所目となる「お休み処」を開設しました。 既に開設している矢口の渡商店会、日の出銀座商店街、雑色商店街、長原商店街について、運営費の一部を助成しました。	11,746,320
3	商店街イベント・機能向上の支援	商店街が実施する、地域住民が参加でき、販売促進の効果が期待できるイベント事業に助成（121事業、77商店街）しました。 また、商店街が実施する商店街の環境整備で、集客効果が期待できる活性化事業に助成（8事業、8商店街）しました。	222,589,000
4	おおた商い観光展の開催	平成22年10月に区の商店や観光資源を全国に発信する「おおた商い観光展」（来場者延べ12,269人）を開催しました。観光・観光関連産業・特産品等について、125の商店・企業・団体が出展したほか、「おおたの逸品商品の認定発表」「OTAいちおしグルメ表彰式」等、各種イベントを開催しました。	13,406,067
施策2-3-3 大田区の観光を世界に発信します			
1	にぎわいを生み出すスポットづくり	区内の名所をテーマごとに巡る大田再発見ツアーとして、のりのりビーチフェスタ（1回、参加者500人）等を実施したほか、区内の見どころを写真撮影しながら散策するてくてくフォト散歩として、羽田沖クルージング&写真撮影ツアー（1回、参加者18人）等を実施しました。 品川区との連携で事業展開する、まちづくり推進協議会において、外国人向け大田区・品川区モニターツアー（2回、参加者延べ55人）等を実施しました。 六郷用水の歴史や散策路等を紹介するパンフレット「六郷用水400」（10,000部）や大田区がテーマとする生活観光の魅力の一つである銭湯を紹介する「おおた銭湯マップ」（10,000部）を作成し、羽田空港観光情報コーナー等で配布しました。	10,879,869
2	ものづくりのまち体験ツアーの実施	16の工場について、ヒアリング方式により基本情報、歴史、仕事のネットワーク、地域との関係等の調査を実施し、おおた工業フェアにて成果を発表しました。 小学生等がものづくりの現場を写真撮影しながら体験する「大田区の工場ふしぎ発見隊」（3回、参加者延べ8人）を実施したほか、工場見学を通じて大田区を知るツアー「モノづくりのまち大田ウォーク2011」を実施（1回、参加者30人）しました。	3,325,056
3	シティセールスの実施	観光協会による観光情報誌や観光マップの発行に助成しました。また、観光協会ホームページの多言語化（英語、中国語、韓国語）について支援を行い、多言語化を推進しました。 平成22年10月の羽田空港国際線旅客ターミナルビルのオープンにあわせて、到着ロビー内に大田区観光情報コーナーを開設（来場者約25,000人）し、大田区の観光、産業をPRするため、物産、模型、パネル等の展示や、映像放映、パンフレットの配布（約30種類、約46,000部）を行いました。 大田区観光大使として新たに8人を任命し、平成21年度から継続の6人とあわせて14人となりました。 羽田空港、品川駅からの見所を掲載した「羽田・品川駅からマップ」を多言語で作成（日英版50,000部、日中版30,000部、日韓版30,000部）しました。 観光まちづくりガイド養成講座（16回、参加者延べ32人）を開催しました。	22,062,461

事業名		内容	決算額(円)
基本目標3 地域力と行政の連携が作る人と地球に優しいまち			
個別目標3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します			
施策3-1-1 地域力の土台づくりを進めます			
1	NPO・区民活動フォーラムの開催	<p>区民の地域活動への参加を拡大し、区民活動団体と行政、企業間の連携を促進するため、NPO・区民活動フォーラム(1回、来場者延べ1,232人)を開催しました。</p> <p>区民活動団体の活動を紹介するパネル展示や、団体の活動に役立つ講座(4回、参加者延べ156人)、区民活動団体提案型オリジナル講座(5回、参加者延べ268人)のほか、micsおおた(区民活動支援施設蒲田)との連動企画を実施しました。</p> <p>NPOや区民活動団体による運営に段階的に移行するため、フォーラム開催中に、一部講座を区民活動団体主催で実施しました。</p>	501,962
2	区民活動・地域活動を支援する拠点の整備	<p>(仮称)区民活動支援センターについて、区民活動団体との懇談会(3回)、利用調整会議(3回)、準備会(4回)を開催し、教室・多目的スペースの活用方法、企画イベント等の検討を行いました。</p> <p>平成22年9月に、消費者生活センター内に区民活動支援施設蒲田(通称micsおおた)を開設しました。</p> <p>庁内検討会(6回)を開催して、(仮称)地域力センターの計画について検討を行い、概要案を作成しました。</p> <p>区民活動やその連携・協働に関する基本的な知識・技能をもった人材を養成するため、区民活動コーディネーター養成講座(7回、研修生30人)を開催しました。</p>	4,270,136
施策3-1-2 地域力を活かした取り組みを進めます			
1	協働推進講師派遣事業	<p>地域の中で学習会や講演会を行うことで、協働事業を広げるきっかけとするため、自治会・町会や区民活動団体からの要望に基づき、NPOを主宰する人を講師として派遣(10回)し、子どもの見守り、食育、健康、防災等に関する講演等を実施しました。</p>	293,914
2	地域力応援基金助成事業	<p>公益性があり、広く社会貢献につながる活動を行う区民活動団体に、活動段階に応じた支援を行うため、スタートアップ助成として新規に8団体、昨年度からの継続で6団体に助成しました。</p> <p>また、ステップアップ助成として9団体に助成したほか、新規、継続募集を行い、平成23年度に助成する事業を採択(新規8事業、継続5事業)しました。</p> <p>ジャンプアップ助成として1団体に助成し、平成23年度に助成する事業を採択(継続1事業)しました。</p>	23,336,816
3	地域活性化事業への支援	<p>自治会・町会が他の区民活動団体等と連携して実施する事業を支援する仕組みとして、地域の防災・防犯を高める事業(16自治会・町会)、コミュニティの形成に役立つ事業(37自治会・町会)、地域の福祉力を高める事業(4自治会・町会)に助成しました。</p>	5,642,280
4	自治会・町会会館の整備助成	<p>自治会・町会活動の充実を図るため、町会会館の修繕について、助成(5件)しました。また、平成23年度に助成するために、新築等(1件)、修繕(1件)の交付決定を行いました。</p>	8,005,610
5	わがまち大田推進協議会・地区推進委員会の充実	<p>地域力推進会議(10回)、地域力推進地区委員会(延べ165回)を開催し、それぞれの地域の課題について検討を行いました。</p> <p>8地区で10の地域力推進地区委員会分科会(地域活性化関係4分科会、環境・美化関係3分科会、安心・安全関係3分科会)において、地域課題の解決に取り組みました。</p>	1,251,546
6	区民活動情報サイトの整備・活用	<p>地域の区民活動に関する有益な情報をインターネットで集約・発信するサイトを構築するため、区民活動情報サイト検討会(5回)を開催し、サイトの構成や愛称等の検討を行いました。サイトの愛称を、「オーちゃんネット」とし、平成23年1月に運用を開始しました。登録団体は、282団体となりました。</p> <p>ホームページへの掲載等により、登録団体募集のPR活動を行ったほか、区民活動団体向けの説明会(2回、参加者延べ69人)を開催しました。</p>	2,819,348

事業名		内容	決算額（円）
7	協働プロジェクト事業の実施	こらぼ大森を活用し、連携・協働の促進を目的とした5つのプロジェクト、省エネ・創エネからの温暖化防止事業、母親のための健康づくり事業、若者のための社会復帰事業、大田区に森をつくる環境事業、子どもの自殺・いじめ防止事業に昨年度から継続して委託を行いました。	5,001,549
施策3-1-3 誰もが暮らしやすい地域をつくります			
1	(仮称)多文化共生推進センターの整備	平成22年9月、消費者生活センター内に大田区多文化共生推進センター（通称micsおおた）を開設しました。 開設後、13カ国語での生活相談や、日本語教室の開催（3期（1期：毎週日曜日全8回））、区関連施設への通訳派遣、区へ提出する書類の無料翻訳、多文化交流事業（2回、世界フルーツパーティ、フィリピンズデイインジャパン）等を実施し、多文化共生の拠点として円滑な運営を行いました。	26,354,881
2	外国人のための日本語教室の充実	日本語ボランティア養成講座（20回、参加者延べ708人）等を実施し、新たに3つの日本語教室が立ち上がりました。 また、外国人に対する日本語習得支援として、5つの日本語教室の連携により、学習者の出身国、年齢、性別に合わせた指導員配置や、育児中の学習者でも気軽に参加できるように保育を付ける等、学習者のニーズに応じた日本語教室（3期、参加者延べ372人）を実施しました。	2,448,141
3	身近な暮らし情報の発信	リビングガイドの平成23年度改訂に向けて、大学と連携し、外国人に対する情報提供のあり方について検討を行いました。 外国人向け情報誌「Warbler」を「OtaCityNavigation」に改め、タガログ語の翻訳版も加える等、内容を充実させました。	159,916
施策3-1-4 地域文化の創造とふれあいづくりを進めます			
1	(仮称)地域文化振興プランの策定・実施	庁内検討会を開催して、地域文化振興プランの具体的な取り組みの策定に向けた検討を行いました。 具体的な取り組み（素案）についての意見交換のために、地域文化振興に関する懇話会（1回）及び区民説明会（1回）を開催しました。 パブリックコメント（意見数7件）を実施し、平成23年3月に「大田区地域文化振興プラン」を策定しました。	296,100
施策3-1-5 自分たちのまちは自分たちで守ります			
2	防災情報基盤の整備	防災行政無線で区内全域への放送を実施する際に、その放送内容を区民安全・安心メールサービスを利用して携帯電話に通知するサービスを開始しました。区民安全・安心メールサービスの登録数は45,030件（前年度比14,531件増）となりました（防災無線の情報取得サービスの登録数は19,459件）。 また、デジタル防災行政無線親局設備を本庁舎に整備しました。さらに、難聴対策として新規屋外拡声子局（31か所）を整備したほか、老朽化設備（38か所）を改修しました。	339,845,877
3	地域防犯活動の支援	地域全体の防犯活動を強化し、犯罪抑止力を高めるため、地域安全・安心パトロールへ助成（新規：11団体、新規助成から3年以上継続：20団体）し、団体数は248団体（前年度比11団体増）となりました。 ホームページ等により、子どもSOSの家について周知を行い、登録協力員数が5,566人（前年度比2人増）となりました。 青色回転灯装備車両によるパトロール（323回）を実施しました。	37,832,456
4	地域防災活動の支援	災害時における区民の自主的な活動体制を確立するため、防災市民組織（211組織）や市民消防隊（144組織）が訓練等を実施する場合等に助成しました。 職員が地域の防災訓練に参加し、起震車、煙体験の派遣（259回）や防災パンフレットの配布を通じた「自助」の重要性の呼びかけ、及び仮設トイレ組み立て指導（20回）等を通じた「共助」の呼びかけを行いました。	77,653,407

事業名	内容	決算額(円)
個別目標3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です		
施策3-2-1 地球に優しいまちをつくります		
1	環境基本条例の制定と環境基本計画の策定	8,803,360
2	エコライフの普及	117,640,961
3	大田区地球温暖化対策地域協議会の運営・行動指針の実践	1,561,780
施策3-2-2 水と緑を感じるまちをつくります		
1	河川水質浄化対策の推進	250,642,641
2	(仮称)大田区緑の10か年計画の策定(緑の基本計画改定)	3,030,500
施策3-2-3 ごみのない循環のまちをつくります		
1	ごみ減量・3R推進のPR実施	5,588,598
2	清掃事務所などの整備	345,326,306

事業名	内容	決算額(円)
個別目標3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます		
施策3-3-1 行政力を最大限に発揮できる体制をつくります		
1	調査研究・企画機能の拡充	2,901,897
<p>集合住宅居住者の区政への関心度、地域への帰属・参加意識、区政情報の伝達等の状況を把握して地域力の担い手としての分析を行い、「集合住宅居住者の地域力調査報告書」を作成しました。</p> <p>都区のあり方検討委員会で東京都から区へ移管する方向で検討するとされた53項目の事務について、区へ移管される際に考えられる課題や解決の方向性等について検討しました。</p>		
2	行政情報基盤の整備	2,427,414,829
<p>基幹系システム再構築に向け、業務システムの検証、総合運転試験、システム切替りハールを実施し、平成23年1月からシステムを稼働しました。</p> <p>外部接続環境について、クレジットカード収納や生活保護受給者のレセプト情報の授受等インターネット、メール以外の業務に利用用途の拡大を図りました。</p>		
3	区民利用施設の改築	421,109,038
<p>萩中集会所について、改築に着手し、地下部分の工事を実施しました。</p>		
施策3-3-2 透明性の高い区役所をつくります		
1	区民の新たな区政参画制度の導入	249,900
<p>区民の意見・要望を施策に活かす広聴機能を拡充し、区民の区政参画機会の充実を図るため区政サポーターにアンケート調査を実施する際、メールで送付・回答する手法の有効性を検証する等、区政サポーター制度実施に係る準備調査を行いました。</p>		
2	主要施策の成果及び達成度の公表	560,000
<p>平成21年度の主な事業（おおた未来プラン10年に掲げる主な事業119事業）について、決算特別委員会に「主要施策の成果」を報告し、公表しました。</p> <p>平成22年度に実施した主な事業について、四半期ごとに進捗状況を把握する等、庁内における事業の執行状況の共有化を推進しました。</p> <p>「大田区における事務事業の検証・評価に関する基本方針」を策定し、これに基づき「平成21年度おおた未来プラン10年に掲げる主な事業の進捗状況報告書」を公表したほか、事務事業の外部評価及び自己評価を実施しました。</p>		
施策3-3-3 地域力を支える区役所をつくります		
1	特別出張所の改築	393,477,245
<p>地域力の推進拠点であり、区民に最も身近な施設として、窓口サービスの向上や地域力の活性化を図るため、老朽化した特別出張所の改築を進めました。</p> <p>大森東特別出張所については、平成22年10月に竣工し、11月から業務を開始しました。鶉の木特別出張所については、庁舎解体に着手し、完了しました。また、庁舎改築に伴う移転作業を行い、平成22年9月から仮庁舎にて業務を開始しました。入新井特別出張所については、平成23年2月に竣工し、3月から業務を開始しました。</p>		